

日ごろの成果を披露

第1回松浦市老人クラブ大会が10月2日、きらきら21で開催されました。

旧松浦市と旧鷹島町の老人クラブが合併して発足した松浦市老人クラブ連合会（森亮会長）が、各クラブ活動の成果を出し合い、高齢者福祉の充実向上を図るために開催したものです。

この日は、「がんばれ 老人クラブ」と題した長崎国際大学の山本主税教授の講演や、演芸プログラムが行われました。演芸プログラムでは、21組が舞踊や民謡、カラオケなど日ごろの成果を披露し、集まった約150人の会員たちは楽しいひとときを過ごしました。



まちの話題



秋の夜長を楽しむ

第11回福島町観月会が9月30日、福島町のふれあい広場で開催されました。

福島町観光協会（清田民広会長）が、福島の新たな魅力発見と、イベントを通して地域振興を図ろうと毎年開催しています。

ステージでは、肥前福島玄蕃太鼓と伊万里太鼓のメンバーによる太鼓演奏や、日舞、大正琴の演奏、ヨサコイダンスなどが披露されました。

市内外から訪れた約300人の来場者は、上弦の月が会場を照らす中、秋の夜長を楽しんでいました。



お年寄りが夜間運転を体験

高齢運転者体験型講習会が9月22日、ヒューマンスクール松浦で開催されました。

高齢者の交通事故が年々増加しているため、夜間運転など実践的な体験を通して運転講習を行い、交通事故防止を図ることを目的に開催されたものです。

この日は、60歳以上の運転者約30人が参加。機械を使って反応速度や動体視力の検査を受けたり、教習コースを利用して夜間の運転を体験したりしました。

参加した小佐^{ふじお}富士夫さん（志佐・横辺田）は「機械や検査を体験して、運転能力が劣ってきているのがわかりました。ハンドルを握ったらゆとりをもって、安全運転に心がけたいです」と話していました。

福永テイさんが 100 歳

福永テイさん（志佐・長野）が10月9日、100歳の誕生日を迎えました。

福永さんは、農業に従事し、花が好きで花壇や庭の手入れをよくしていました。平成10年から田中病院に入院し、リハビリなどを受けています。

この日福永さんは、家族から祝福を受け、友広市長からお祝いの言葉や花束を受けました。

これで市内の100歳以上の人は、11人になりました。



中国の伝統の音色に触れる

平成18年度長崎県青少年劇場小公演（県教育委員会、市教育委員会共催）が9月28日、福島小学校体育館で行われました。

二胡奏者の姜建華さんと、中国琵琶奏者の楊宝元さんによるデュオコンサートが行われました。2人は、それぞれの楽器の特徴を説明したあと、中国の曲をはじめ、「荒城の月」「夕焼け小焼け」など10曲を披露。この日集まった福島小学校と養源小学校の児童約180人は、中国の伝統の音色に聴き入っていました。

また、10月17日に鷹島中学校で、19日には今福中学校で、劇団道化による「ナガサキ'ん グラフィティ」も行われました。



市内で一斉に防犯パトロール

全国地域安全運動（10月11日～20日）の初日の10月11日に、市内7カ所で一斉に防犯パトロールが行われました。

犯罪のない安全で安心なまちづくりを目的とした県下一斉防犯パトロールの一環で行われたものです。

志佐地区では、松浦署員や少年補導委員、シルバー防犯隊、電源開発松浦火力発電所の職員など約50人が参加。4つのコースに分かれて店舗等をまわり、チラシや風船、ティッシュなどを配布しながら防犯を呼びかけました。



参加店舗に認定書授与 とき 旬さば・松浦とらふぐまつり

平成18年度まつうら海鮮街道「旬さば・松浦とらふぐまつり」参加店舗認定書授与式が9月25日、商工会議所で行われました。

まつりは、旬さば・とらふぐやその料理を、市内の宿泊・飲食店、鮮魚販売店を通して市内外に向けてPRし、地産地消の推進と交流人口の増加を図ることを目的として、まつうら海鮮街道実行委員会の主催で行っています。

この日は、まつりに参加する市内の宿泊・飲食施設15店舗と、鮮魚販売2店舗の代表者らが出席。小松英史会長から認定書を受け取りました。

まつりの開催は、「松浦とらふぐまつり」が10月1日から3月31日まで、「旬さばまつり」が10月12日から1月31日までです。